『臨界期』をのがさない教育を

’20 年度

中学受験予備校

WiLL 受講ガイド

● ＷｉＬＬ　　（小３～小６）

幼児・小学生の基礎能力開発	ジュニアカリヨン	（年中・年長）
	シニアカリヨン	（小１・小２）
中学受験予備校	ＷｉＬＬ	（小３～小６）

良いことも悪いことも、ほとんどの種は幼児・小学生の時にまかれます。後戻りできません。

〒790-0011
松山市千舟町4丁目3－9　ワシヤビル　2F
TEL　089-987-6162
FAX　089-987-6163

目次

①　考え方・目指すもの
②　３つの”常識”と断固たたかいます
③　時間割
④　教務概要
⑤　「週テスト」
⑥　実施するテスト
⑦　学習する領域　－　４年生
⑦　学習する領域　－　５年生
⑦　学習する領域　－　６年生
⑧　情報提供
⑨　英語
⑩　論理
⑪　日曜特訓　－１
⑫　日曜特訓　－２
⑬　合格
⑭　保護者からの手紙
⑮　時間割・受講料など
⑯　教材費
⑰　主なスタッフ
⑱　入塾まで、入塾から１か月後まで
⑲　保護者からの手紙

1

中学受験予備校 WiLL の考え方・目指すもの

● 社会の構造･価値観が変わり、多くの分野で、これまで通用していた考え方や手法が破綻し役に立たなくなっています。人口増加・自然破壊・温暖化・食糧不足・高齢社会･･･ 問題は地球規模で溢れ出しています。

● 社会が求める人材のあり方もまた大きく変わろうとしています。自らが課題を見つけ、自ら学び、自らの力で問題を解決できる「考える力・生きる力」を持った人材が必要とされています。既に私たちの社会や産業界は、正確に多くの知識を記憶するだけの暗記型の人間を求めてはいません。より良い成果を得るために、経験や知識を組み合わせ、最良の方法･答えに至り、その方法・答えを相手に正しく伝え、問題を解決していく。そんな人間こそが未来を切り拓き、生き抜けるのです。「生きる力」を備えた人と言えるのです。

● 『学習』という場で、その「生きる力」を養えるよう子ども達をサポートしていくことが、私たち民間教育に携わるものの役目であると考えます。
知識だけに頼らず、経験だけでない伸びやかな発想や豊かな思考力を正しく育ててほしい。さらに、まわりの人を思いやり、人の気持ちを理解しようとする心も育ててほしい。「学ぶ」ということは、それぞれの子供にとって、自らの未来 (将来) に向かって全身を使い、積極的に生きる力を養うことでありたいのです。

● 私達は、松山の地に生まれた小さな私塾です。しかし、私塾人としての経験と思い･気概･能力は、他を圧倒しています。

● 教材・tool は、自分の頭で答えを見つける力を求められてきた中学入試に対応した『四谷大塚』・10 歳までに差異がついてしまうとされる基礎能力を育てる『上里式（日本幼児基礎能力研究会)』・あいさつ英語でない方法論を持つ英語指導『MPI(松香フォニックス研究所)』、『論理エンジン』… など、超一級品ばかりを選りすぐって用意しました。(今後も「本物」だけを導入していきます。)

● 学力診断（テスト）の機能をさらに充実。算数演習・応用算数・応用理科・国語読解など授業内容もバージョンを上げました。特に算数は学習時数を増し、首都圏・全国どこでも通用する学力を養成します。（塾生が受験するテストは全て四谷大塚作成、ライバルのほとんどは首都圏の小学生です。）

● 国語読解では、文を読むスキル（誰にでも真似できる読み･書く方法）を提示し、ドリルし、論理的思考力を高めます。

● 全ての教科のもとになる「論理力」強化のため、『論理エンジン』を小学生の塾として、初めて導入。読解力・記述式対応の強化を図ります。

● 算数も全ての単元について問題文を読むスキルを指導します。ＷｉＬＬは読む「方法」を指導し､読む「方法」を「学ぶ」塾です。

● ３年～６年の全塾生に 1 回 15 分､週３回｢英語｣の授業を実施。発音と綴りの関係を核に｢短い学習を数多く｣4 技能の｢基盤」をつくります。

● ３年から６年まで全学年に、学習内容定着と学力練成の週・月例テスト（３年生は年８回の月テスト、４・５年生は年３０回、６年生は年２７回の週テスト）を実施、又、各学年とも年３回（６年生は６回）の学力判定テスト（四谷大塚全提携塾参加の学力テスト、６年生は合不合判定テスト）を行います。学習内容の多い５年生には、週テストと学力判定テストをつなぐ年３回の公開組分けテストを用意しました。（４・５年生は組分けテスト、６年生は合不合判定テストでクラス分けを行います。）

● 当日学習した内容を演習する『算数フォロー up』の時間を設けました。当日学習した内容を、塾生がホワイトボードに書いて「すぐ繰り返し」ます。

● がんばりが形につながり、意欲が増大し、学習のやり方を自分のものにする形をつくりました。

私達は皆 , 幸せになるために生まれ , 生きています。

● 子供達が私達の私塾に学び、より幸せな人生を送るための「生きる力」を強くしてほしい。自らの将来に向かって、自らの意志で自信を持って一歩を踏み出す力を持ってほしいと願って “ **中学受験予備校 ＷｉＬＬ（ウィル）** " を運営します。

未来をつくるのは、今眼の前にいる子供達に他ならないのです。

ウィルの使命
能力伸長を通して子供を元気にし、家庭と社会がもっと元気になる推進役になること

2

中学受験予備校 WiLL は３つの“常識”と断固たたかいます

私たちは３つの " 常識 " と断固たたかいます。

第１の〝常識〟「競争がある所にのみ進歩がある」

誰もが弱点を持ち、一人として勝ち続けることは出来ない。他者との競争に勝つことでのみ自己肯定を得る子どもは一度敗者となった時立ち直ることが出来ない。音読や表現力の強化で自己肯定力を強める。自信のある子どもにする。

第２の〝常識〟「出来ないこと、困難に挑戦すれば能力が伸びる」

出来ぬことを繰り返せば、「出来ぬこと」を学んでしまう。それより「出来ることを何度も繰り返すこと」だ。計算や熟語や暗唱を大切にする。「出来ることだけ」を何回も繰り返すのが能力伸長のコツだ。

第３の〝常識〟「幼児・小学生に塾は早すぎる」

基礎能力が不足だと「詰め込み教育」をやるしかない。基礎能力の育成は小学校終了時まで。「詰め込み」をしたくなければ、幼・小の時期を逃さぬことだ。

●字が満足に読めず、語い数も不足の人に「読書の有効性」を説いても効果はありません。読書好きにするには、幼児期に必要な漢字とカナを読めるようになった上で、読書の環境をつくることが必要です。読書の習慣のない子どもに感想文書きを強いるのが**詰め込み教育**で、ますます本嫌いにさせることになります。

●記憶力を育てるのに最適な時は６歳まで、リズム感も同様です。語いを増やす訓練は小１・２が最適です。数の概念を育てるのは幼児、筋道を立てて考え、数学的に処理する訓練も小１・２が最適です。算数･数学の学習に計算力は必須ですが、計算力だけでは数学的思考は育ちません。

●これら基礎能力の育成に適した時期は**小学校終了時**までです。

●幼児・小学生の時期にしかるべき訓練を受けず、高校受験に必要だからといって中学生になってから学習を強いられることこそ「かわいそう」だと思います。

●ある一定レベルの問題を解くには、類題に多くあたり、解法を覚えるのが最良の方法ですから、試験をクリアする為にテストと問題演習だけにあけくれることになります。これが『詰め込み教育』といわれるものです。忍耐力はつきますが、想像力は増大せず、能力拡大にはつながりません。短期間の詰め込み学習で合格して、その時は成功したと思うかもしれませんが、その後の子どもの長い歴史を考えると、労多くして益は少ないのです。**私は『詰め込み教育』に対してたたかいます。**

●小３・４でやるべきは、自分にあった学習のスタイルづくりです。

〇国語はもちろん、理科・社会に関する語いを増やす方法、これは音読と繰り返し。
〇文章を読む力、算数の文章題なら文の表す意味を線分図・ベン図・グラフ・面積図など目にみえる形にする方法を身につけます。
〇ノート作りの方法も大切。
〇線引きは国語の学習に欠かせません。
〇式の利用、計算のやり方も大切です。
〇模範解答の使い方・音読の徹底もあります。

“鉄は熱いうちに打て”といいますが、３・４年生の時、これら自分の学ぶスタイルをつくれば、その後**自由自在**に情報をとりいれることができます。

●５・６年生でやることは、３・４年生でつくったスタイルで学習し、成功の体験をつくることです。未だ自分のスタイルができていない場合、**小学校卒業までには**自分の方法をつくる必要があります。

●中学・高校になって英語ができない人のほとんどが、英文を音読できません。国語の問題文に線が引けません。古文が音読できません。数学の道具が使えません。これらは中学生になって急にできる様にはなりません。中学･高校では手遅れで、身に付けることはできないのです。

●基礎能力の育成・自分の学習スタイル作りは幼児・小学生の時をはずすと困難になります。

「幼児・小学生には塾は早すぎる」という思い込みに対してたたかっていきます。

塾長メッセージ第５号（５月９日～１５日発信）から

3　WiLL の時間割

'20 年度時間割

4　中学受験予備校 WiLL の教務概要

（通常授業）

	対象	目標	クラス	指導	テキスト	通塾回数	曜日
中学受験予備校ウィル 自主性と学習習慣を育み、子ども自身が主体的に考え、学び、自分で壁を乗り越える（実力）を養成する	小３	①　確実に理解すること …難関を超える・面白さを感じる。 ②　家庭学習の習慣づけ	３年クラス	算・国 ＋英語	・ジュニア予習シリーズ ・オリジナル ・英語教材 ・論理エンジン	週２回	火木
			土曜クラス			週１回	土
	小４	①　小３と同じ ②　小３と同じ ③　問題解法を身につける ※　２科（算・国）クラス（月金，又は月金土）も受講可能 **※　選抜クラスは９月設置**	４年クラス	４科 ＋英語	・予習シリーズ４年 ・オリジナル ・計算教材 ・英語教材 ・論理エンジン	週３回 土曜演習 土曜週テ	月水金 土
			選抜クラス				
			水土クラス （算国自宅学習 ＋ウィルで算数演習・週テ）			週２回	水土
	小５	①　苦手科目を克服し、自信をつける。方法の獲得 ②　問題の丁寧な解説・難問への挑戦 →受験に対する目的意識→粘りをつける ③　算数に重点を置く指導。 ④　繰り返して定着	Ａクラス	４科 ＋英語	・予習シリーズ５年 ・オリジナル ・計算教材 ・英語教材 ・論理エンジン	週３回 ＋土曜週テ ＋日曜特訓	月水金 （必要な土日）
			選抜クラス				
	小６	①　学力の向上→傾向と対策の発動 →進学後余裕の持てる合格 ②　総合力の完成（自学力をつける）	Ａクラス	４科 ＋英語	・予習シリーズ６年 ・オリジナル ・計算教材 ・英語教材 ・論理エンジン	週３回 ＋土曜特訓 ＋日曜特訓	火木土 （必要な土日）
			選抜クラス				

（実施するテスト）

	カリキュラムテスト（学習能力の定着　応用力強化）	四谷大塚公開模試（全国での学力を客観的に測る）
小３	月テスト（年８回）	
小４	週テスト（年 30 回） 組分テスト（年８回）	年３回
小５	週テスト（年 30 回）	年６回
小６	週テスト（年 27 回）	年６回

●（発展学習）
「応用算数」「応用理科」「国語解法伝授」については別紙をご覧下さい。

●（テキスト）
使用するテキストについては、「使用テキスト一覧」をご覧下さい。

●（テスト）
実施するテストについては、「WiLL の実施するテスト」をご覧下さい。

●（英語）
「英語」の指導については別紙をご覧ください。

（年間授業編成）

３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
前期	春季	前期			夏季	後期				冬季特別授業	前期	前期
						（小６生）入試対策 130 日特訓						中学進学後準備

●１学年のカリキュラムは２月スタート、１月終了
●小４の２科クラス生・土曜クラス生も春・夏・冬の特別授業は４科受講
（春・夏は前期の演習定着、冬は後期の演習定着）
●小６の中学進学後準備授業は英語・数学の先行学習

5　中学受験予備校 WiLL の「週テスト」

「なぜ、５・６年のカリキュラムテストは『週テスト』なの？」

ウィルでは５・６年生とも一学年で年間約３０回分の学習領域を学習します。（前ページ参照）

「５・６年生のカリキュラムテスト」は学習領域にあわせ年間約３０回実施します。

テストの目的は、できなかったところをいち早くチェックし、苦手分野を素早くケアすることです。取りこぼしをしないよう、「授業→テスト→復習」のサイクルを繰り返すことが大切です。このサイクルが一ヶ月や一学期ではあまりに復習する内容が多く、時間的にも長すぎて現実的とはいえません。このサイクルの単位は一週間がベストと言えるでしょう。

さらに、一度学習した領域はそれでおしまいと言うことではありません。その時正答できたといっても、時間をおいて同じ領域をテストして、また正答できるとは限りません。

学習した領域が出題されたとき、正答できる学力を定着させるという意味からも、繰り返し行われる毎週のﾃｽﾄは必要です。

学習の習慣づくりの一番有効な方法も週テストの実施です。

愛光中も平成中も青雲中も、中１生には必ず週テストを実施しています。青雲は週テスト・月テスト・定期テストを行っていますが、一番大切なのは週テストです。週テストだけが、習慣を学習できるように変える力を持っています。

～お母様より～　カリキュラムテスト（週テスト）について

説明会でカリキュラムテスト（週テスト）の実施を聞いたときは、１週間ごとの短期間のテストで意味はあるのだろうか、逆に負担になるのではないかと不安でした。

しかし、週テストをしてみて、本人の理解度は細かく分析できるし、勉強もテストがあるので目標を持って集中し、テストができると自信がつくし励みにもなっています。

先生のおっしゃっていたカリキュラムテストの効果の意味がよくわかりました。

「『らせん型カリキュラム』ってどんなものなの……？」

四谷大塚の「らせん型カリキュラム

「四谷大塚」の学習の大きな特長。その一つが"らせん型カリキュラム"です。ある一つの単元について、まずはじめに基本的な導入部分の考え方が説明されると、そこから先は、ちょうど"らせん階段"のようにぐるぐる回りながら上に伸びていくように、何度も繰り返しながらより深い理論へと進んでいきます。お子さまは、"アレ、これは前に習ったな"と思い出すと同時に、答えを見つける方法は一つではないこと、前に習った知識を活用しながら、自分だけの方法で正解へ導けることを、身をもって知ります。与えられたテーマに対して、多角的な視点を身につけることで、学力のバランスのある柔軟な思考力を育む。これが"らせん型カリキュラム"の意味なのです。

四谷大塚の教材は基礎学力を伸ばす

実は、私自身予習シリーズは難しいという観念があったのですが、実際に使ってみると、使っている子どもたちの基礎学力が確実に伸びるという傾向が現れたんです。週単位で目標を定めて学習することによって基礎学力の部分で大きな伸びがみられました。学習のリズムができることと、角度をかえて繰り返し学習する「らせん型カリキュラム」がその理由ではないかと感じています。

（四谷大塚提携塾・逗子すばる進学センター　高木泰行さん）

6　中学受験予備校 WiLL の実施するテスト （'20 年度前期）

●指導と評価・診断は、車の両輪のようなもの。どちらを欠くわけにもいけません。生徒にとっては、復習の機会になり、自分を客観的に見る機会になり、学力錬成の機会になり、励みの指標になります。教師にとっては、指導の反省材料になり、指導法改善の指標になります。

●テストは大きく 2 分されます。1 つは週テスト・月例テストです。出題範囲は狭く、学習内容の定着・応用力強化を目的とします。もう一つは公開組分けテスト・合不合判定テストです。出題範囲は広く、全国数多くの同学年のライバルと競い合う、励みの指標とするテストです。

'20 年度後期（2 ～ 8 月）テスト実施日程表

	3 年			4 年			5 年			6 年		
	日	回	テスト名	日	回	テスト名	日	回	テスト名	日	回	テスト名
2 月							8	1	週テスト	8	1	週テスト
							15	2	週テスト	15	2	週テスト
							22	3	週テスト	22	3	週テスト
							29	4	週テスト	29	4	週テスト
3 月	7	1	月例テスト	7	1	公開組分けテスト						
							14	6	週テスト	14	6	週テスト
							21	7	週テスト	21	7	週テスト
4 月				4		講習後テスト	4		講習後テスト	4		講習後テスト
							11	8	週テスト	12		合不合判定テスト①
							18	9	週テスト	18	8	週テスト
	25	2	月例テスト	25	2	公開組分けテスト	26		公開組分けテスト			
5 月							16	11	週テスト	16	10	週テスト
							23	12	週テスト	23	11	週テスト
							30	13	週テスト	30	12	週テスト
6 月							6	14	週テスト	6	13	週テスト
	7		小学生テスト	7		小学生テスト	7		小学生テスト			
	13	3	月例テスト	13	3	公開組分けテスト						
							20	16	週テスト	20	15	週テスト
							27	17	週テスト	27	16	週テスト
7 月							4	18	週テスト	4	17	週テスト
							11	19	週テスト	12		合不合判定テスト②
	18	4	月例テスト	18	4	公開組分けテスト	19		公開組分けテスト			
8 月				29	5	公開組分けテスト	30		公開組分けテスト	30		公開組分けテスト

テスト実施日時

●週テスト 5 年（9:00 ～ 11:30）、6 年（12:00 ～ 14:30）

● 5・6 年の週テスト以外はその都度案内を差し上げます。

●所定の時間で受験できない場合は別途時間枠を設けます。

テスト受験料

・（WiLL）週テスト（5・6 年）　1,700 円

・（四谷大塚）月例テスト（3 年）　3,300 円

・（四谷大塚）公開組分けテスト（4・5 年）　4,400 円

・（四谷大塚）合不合判定テスト（6 年）　5,300 円

テスト内容

●（WiLL）週テスト（5・6 年）

・算国理社　・1 週間に学習した領域

・基本 50%、応用発展 50%

・（配点）算国各 100 点、理社各 70 点

・基準点（合格点は各 60%）に対する絶対評価（累積する）

・作問は四谷大塚、実施・処理は WiLL。

●（四谷大塚）月例テスト（3 年）

・算国　・1 か月に学習した領域　・（配点）各 100 点

・基準点（合格点は各 60%）に対する絶対評価（累積する）

●（四谷大塚）公開組分けテスト（4・5・6 年）

・算国理社

・年 9 回（4 年）年 4 回（5 年）年 1 回（6 年）

・予習シリーズの学習カリキュラムに準拠

・（返却資料）

個人成績表（順位・偏差値・領域別成績など。累積する）、他

・（配点）算 200 点、国 150 点、理社 100 点

●（四谷大塚）合不合判定テスト（6 年）

・算国理社

・年 6 回

・合格ラインの到達度を知る模擬テスト

・（返却資料）

・個人成績表（順位・偏差値・領域別成績など。累積する）

・合不合判定　・志望校に関する受験志望パターン他

・（配点）算国 150 点、理社 100 点

テスト直し

・模範解答を参考にし、満点解答を作ります。

・塾生全員に個人ファイルをつくり、個々人の満点解答を保管します。

WiLL で学習する領域

例えば「算数」を小学校の学習内容と比べてみて下さい。
ウィルでは何度も繰り返しながら、こんなに深く学習します。

4年生

算数

ウィルで学習する領域

前期（2月～8月）		後期（9月～1月）	
数と計算・数量関係	**図形・量と測定**	**数と計算・数量関係**	**図形・量と測定**
和と差の問題 小数のしくみ □を求める計算 かけ算とわり算 植木の数と間の数 いろいろなならべ方 分数の性質と大きさ 大きな数とおよその数 小数のかけ算・わり算	角の大きさと性質 正方形と長方形（1） 三角形の性質 立方体と直方体（1） 正方形と長方形（2） 棒グラフと折れ線グラフ	分数のたし算・ひき算 整理と分類 周期算 いろいろな選び方 線分図に整理する問題 ならべたご石の数 日付や日数と曜日 条件整理と推理 小数の計算（1）（2）	いろいろな四角形 時間の単位と計算 三角形の面積 円と正多角形 立方体と直方体（2）

小学校の学習内容

数と計算・数量関係	図形・量と測定
十進数位取り / 概数 / 整数の除法 / 小数の加法・減法 / 分数 ともなって変わる二量 / 四則計算 / （　）を使った式 / 資料の整理と分類	面積（正方形・長方形）/ 角の大きさ 図形（二等辺三角形・正三角形・円の中心・直径・半径）

国語

ウィルで学習する領域

前期（2月～8月）		後期（9月～1月）	
読解分野	**言語要素分野**	**読解分野**	**言語要素分野**
説明文 文の役割 接続語の働き 指示語の働き 話題と要点 段落の関係 要旨・要約（1）（2） 物語・小説 場面・情景 場面展開 言動と心情（1）～（3） 性格と人物像 主題 詩	五十音図 ひらがな・カタカナの筆順 かなづかい 送りがな 国語辞典の使い方 漢字の成り立ち・漢字の音訓 漢字の部首 漢字の画数・筆順 漢和辞典の使い方 同音異字・同音異義語 同訓異字 熟語の組み立て 三字の熟語・四字の熟語 類義語 対義語 和語・漢語・外来語	つなぐ言葉 接続語の用法（1）（2） 指示語の読解（1）（2） 文章の組み立て 段落関係と役割 筆者の考え・意見 要旨・要約 いつ・どこで・だれが 場面と登場人物 場面展開 こころの動きを追う 言動と心情（1）～（3） 主人公たちの人間像 主題 説明文を読む 物語・小説を読む 詩を読む	慣用句（1）（2） ことわざ（1）（2） 主語と述語 修飾語 単語の学習 名詞 動詞 形容詞・形容動詞 副詞 文の基本形 複合語・派生語 敬語（1）（2） 文章符号と原稿用紙の使い方

社会

学習する領域

前期（2月～8月）		後期（9月～1月）	
地理分野		**地理分野**	
地図の見方（1）（2） あたたかい地方 寒さのきびしい地方 雪の多い地方　雨の少ない地方 雨の多い地方 低い土地のくらし 高い土地のくらし 盆地のくらし　海辺のくらし	水とくらし ごみとくらし 環境とくらし	ふるさとじまん 北海道・東北地方 関東地方 中部地方 近畿地方 中国・四国地方 九州地方	こんなにちがう各地の気候 山と川がうみだす地形 日本の農業 米づくり、お米がとどくまで、畑や果樹園でつくられるもの、野菜づくり、お肉やお茶は何からできる？、作物をたくさんつくるには？、食べ物は日本でつくられる？

理科

学習する領域

前期（2月～8月）		後期（9月～1月）	
じしゃく モンシロチョウの育ち方 いろいろなこん虫 春のころ（1）（2） 太陽の動き、月の動き	植物の育ち方 植物のつくり 水の変化 水のじゅんかん 空気や水と力 夏のころ（1）（2）	流れる水のはたらき 流水と地形 電気のはたらき（1）（2） 秋のころ（1）（2） 水や空気と温度変化 金属と温度変化	星の集まり 星座の動き もののとけ方（1）（2） 冬のころ（1）（2） 重さをはかるもの

ウィルは、音読・繰り返し・計算力・語い力増強を重視します。

中学受験予備校 WiLL で学習する領域

例えば「算数」を小学校の学習内容と比べてみて下さい。
ウィルでは何度も繰り返しながら、こんなに深く学習します。

5 年生

算数

ウィルで学習する領域

前期（2月～8月）		後期（9月～1月）	
数と計算・数量関係	**図形・量と測定**	**数と計算・数量関係**	**図形・量と測定**
倍数と公倍数 / 周期を見つけて解く問題 約数と公約数 / 通分と約分 分数と割合 / 間や重なりを考えて解く問題 分数の計算 / 和や差に関する問題 整列に関する問題（1）/ 計算のきまりと順序 一方にそろえて解く問題 / 一方におきかえて解く問題 平均に関する問題（1）/ 仕事に関する問題（1） 整列に関する問題（2）/ 濃さに関する問題 場合の数（1）～（3）/ 割合の文章題（1） やりとりに関する問題	多角形（1）（2） 立方体と直方体 表とグラフ（1） 円とおうぎ形（1）（2） 表とグラフ（2） 角柱と円柱 水量の変化とグラフ	速さの表し方（1）/ 売買損益の問題 速さの表し方（2）/ 差の集まりを考えて解く問題 旅人算とグラフ（1）/ 整数の分解と構成 旅人算とグラフ（2）/ 集まりに関する問題 割合の文章題（2）/ 推理して解く問題（1） 比と比の性質（1）（2）/ つるかめ算の応用 割合と比の文章題（1）（2）/ 正比例と反比例（1）（2） 通過算と時計算 / 平均に関する問題（2） 規則を見つけて解く問題（1）/ 流水算 推理して解く問題（2）	角すいと円すい 立体図形（1） 合同と相似（1）～（3） 面積と辺の比（1）（2） ２量の関係とグラフ

小学校の学習内容

数と計算・数量関係	図形・量と測定
整数・小数 / 小数の乗法・除法 / 同分母分数の乗法・除法 / 概数	面積（三角形・平行四辺形・円）/ 平面図形（平行・垂直・円周率）

国語

ウィルで学習する領域

前期（2月～8月）		後期（9月～1月）	
読解分野	**言語要素分野**	**読解分野**	**言語要素分野**
文のつながり 文の役割・話題と要点 段落関係と要旨 場面と情景 人物の気持ちと性格（1）（2） 物語・小説の主題 意見と根拠・理由（1）（2） 経験と感想（1）（2） 表現を読む 詩を読む（1）（2）	文を読む・ことばのきまり 五十音図・国語辞典の使い方 かなづかい・送りがな 漢字の成り立ち・漢字の音訓 漢字の部首 漢字の画数・筆順 漢和辞典の使い方 同音異字・同音異義語 同訓異字 上位語・下位語 類義語・対義語 慣用句 ことわざ 熟語の組み立て 三字・四字の熟語 多義語	説明文・解説文 接続語で読む 段落関係で読む 随筆文 経験と感想（1）～（3） 物語・小説 場面・情景 性格と心情（1）（2） 脚本 記録文・報道文 データ・情報を読む 論説文 意見と根拠・理由 短歌を読む 俳句を読む 詩を読む	文を読む - ことばのきまり - 単語の学習 名詞・動詞 形容詞・形容動詞 副詞・連体詞・接続詞・感動詞 助動詞（1）（2） 助詞（1）（2） 敬語 熟語の組み立て 三字・四字の熟語 同音異字・同音異義語 同訓異字 文語的表現 ことわざ 慣用句

社会

学習する領域

前期（2月～8月）		後期（9月～1月）	
地理分野		**歴史分野**	
日本の食べ物の今、魚はどこから？、くらしに役立つ資源、ものをつくる仕事、工業がもたらしたもの、新しい工業と伝統工業、日本と世界の結びつき	九州地方、中国・四国地方、近畿地方、中部地方、関東地方、東北地方、北海道地方 日本のすがた	旧石器時代・縄文時代・弥生時代 古墳時代・飛鳥時代 奈良時代 平安時代 鎌倉時代 室町時代	安土・桃山時代 江戸時代（1）～（3） 明治時代（1）（2） 大正時代 昭和時代（1）（2）

理科

学習する領域

前期（2月～8月）		後期（9月～1月）	
季節と生物 空気や水の温度による変化 気象の観測、天気の変化 季節と星座 月の満ち欠け 物のあたたまり方	てんびんとばね 音と光（1）（2） 物のとけ方 植物の成長 植物のつくりとはたらき（1）～（3）	動物とヒトのからだ（1）～（3） 豆電球の回路 地球と太陽（1）（2） 酸素と二酸化炭素 気体の性質 物の運動	物の燃え方 大地の変化（1）（2） 水よう液の濃さ 動物とヒトの誕生（1）（2）

ウィルでは、**“読解力”**を大切にし、学習の正しいやり方を身につけます。

中学受験予備校 WiLL で学習する領域

例えば「算数」を小学校の学習内容と比べてみて下さい。
ウィルでは何度も繰り返しながら、こんなに深く学習します。

6 年生

算数

ウィルで学習する領域

前期（2月～8月）		後期（9月～1月）	
数と計算・数量関係	**図形・量と測定**	**数と計算・数量関係**	**図形・量と測定**
規則を見つけて解く問題（2） 割合と比の文章題（3） 仕事に関する問題（2） 速さと比（1）（2） 和と差に関する問題 速さと比（3） 場合の数（4）	体積と容積 面積と辺の比（3） 図形の移動 立体図形（2） 図形上の点の移動 立体図形（3）	文章題Ⅰ（数の性質） 文章題Ⅱ（和や差の問題） 文章題Ⅲ（割合・比の問題） 文章題Ⅳ（速さの問題） 文章題Ⅴ（規則性の問題） 文章題Ⅵ（仕事の問題）	図形Ⅰ（平面図形の問題） 図形Ⅱ（平面図形の問題） 図形Ⅲ（立体図形の問題） 文章題Ⅶ（グラフの問題） 図形Ⅳ（図形の移動の問題） 文章題Ⅷ（場合の数の問題
5年内容の復習・演習		志望校別問題演習・過去問演習 / 計算と基礎問題	

小学校の学習内容

数と計算・数量関係	図形・量と測定
整数の性質（約数・倍数）/ 異分母分数の加減 / 分数の乗法・除法 / 概数 / 比例 / 平均	体積（立方体・直方体）/ 単位量・速さ / 立体図形（角柱・円柱）

国語

ウィルで学習する領域

前期（2月～8月）		後期（9月～1月）	
読解分野	**言語要素分野**	**読解分野**	**言語要素分野**
説明文・論説文 細部文脈から部分文脈へ 部分文脈から全体文脈へ **物語・小説** 場面・情景・登場人物 人物の心情・性格・人物像・主題 **詩・短歌・俳句** **随筆文** 身辺雑記・文学的随筆 日常的批判精神・論説的随筆 **自然と人間** 動植物の生態・自然環境と人間 自然とともに生きる **言葉と文化** 言語論・文化論 **異文化との出会い** 比較文化論・異文化理解・国際化社会 **人と人との間に**（1）～（3）	かなづかい・送りがな 漢字の部首・画数・筆順 同音異字・同音異義語 同訓異字 難しい読み方をする熟語 付表の語 暦の知識 慣用句・ことわざ・故事成語 熟語の組み立て 三字・四字の熟語 類義語・対義語 ことばのきまり（1）文節の役割 ことばのきまり（2）品詞分類・助動詞 ことばのきまり（3）品詞分類・助詞 敬語 手紙文 文学史 語句の意味・用法	**説明的文章の読み方** 細部文脈から部分文脈へ 部分文脈から全体文脈へ **物語・小説の読み方** 心情読解から主題把握へ（1）～（3） **随筆文の読み方** 生活感覚・生活感を読む 日常的批判精神を読む **詩・短歌・俳句の読み方** **説明的文章のまとめ** **物語・小説のまとめ** **随筆文のまとめ** **詩・短歌・俳句のまとめ**	五十音図・国語辞典の使い方 仮名遣い・送り仮名 漢字の成り立ち、漢字の音訓 漢和辞典の使い方 同音異字・同音異義語 同訓異字 類義語・対義語 慣用句 ことわざ 語句の意味・用法 熟語の組み立て 三字・四字の熟語 敬語 ことばのきまり（1）文節の役割 ことばのきまり（2）単語の学習
		志望校別問題演習・過去問演習	

社会

学習する領域

前期（2月～8月）		後期（9月～1月）	
政治・国際分野		**地理・歴史・政治分野**	
日本国憲法の三大原則 / 国会のはたらき 内閣と裁判所 / 地方自治と財政 ともに生きる社会に / わたしたちのくらしと経済 せまくなる地球	世界のすがた / 国際連合と平和 なくならない国際紛争 日本と世界の貿易 循環型社会と世界遺産 地球からの SOS/ 現代の日本	日本の産業 / 政治史 / 日本の政治 日本の国土 / 産業・農民・土地制度史 今日の日本と世界 都道府県と地形図の読みとり 外交史・文化史	自然とともに生きる 歴史に学んで生きる 地域とともに生きる 人とともに生きる
地理・歴史分野の復習と演習		志望校別問題演習・過去問演習	

理科

学習する領域

前期（2月～8月）		後期（9月～1月）	
地球と環境 水よう液の性質（1）～（3） 電流（1）～（3） 地球と宇宙 空気と水	ばね 浮力 てこ（1）（2） 滑車と輪軸	植物のまとめ 動物のまとめ 天体のまとめ 地層と気候のまとめ 水よう液・溶解・気体のまとめ 燃焼と熱のまとめ	電気・音・光のまとめ 力のつり合いのまとめ 地学総合 化学総合 物理総合 生物総合
		志望校別問題演習・過去問演習	

“読解力”（論理力）は学力定着・入試突破は勿論、その後の学習の土台となる。

中学受験予備校 WiLL の情報提供

Line、You Tube などを使い塾生・保護者の皆様に情報提供の形をつくりたいと考えています。
スタートの形ができましたので、お知らせいたします。
これ以降だんだんと整備していきます。

● ホームページ （中学受験予備校ＷｉＬＬ）

・Google や Yahoo! などの検索エンジンから**“中学受験　ＷｉＬＬ”**で検索して下さい。
・『直近のＷｉＬＬのイベント・今日の算数』などの動画を日々アップロードしています。

● You Tube

・You Tube の検索から『中学受験予備校ＷｉＬＬ』を検索して下さい。
・『今日の算数』を月曜～金曜、毎日配信します。
・今日の算数の授業のうち代表的な問題を一題とりあげます。
・保護者の皆様にも『問題の読み方・学習のポイント』が理解していただけると思います。
・家庭学習のスタートの合図として、又親子の対話の材料としてお使い下さい。
・バックナンバーも視聴できます。
・チャンネル登録をすると動画配信後、新着動画がすぐにご覧になれます。

● FACEBOOK

・学校見学会・特訓・保護者会など塾内の行事の様子をお伝えします。

様子をお伝えするため、塾生の顔が映ってしまうことがあります。
ご理解いただきます様お願い致します。
※『どうしても困る』と思われる場合は“確認票”でお知らせ下さい。

● LINE@

・毎週木曜日にその週の末（土曜、日曜）にご希望の保護者に実施予定の講座の時間割やイベントなどをお伝えします。
・毎週必ず配信ではありませんが、週末の予定表がスマホで管理できるので便利です。

ご希望の方でまだ登録がお済みでない方は
右のＱＲコードから登録をお願いします。

9 WiLL の英語

ウィルの英語

●学習指導要領が改訂され、今年は小学校で「教科」として英語が導入され２年目になります。
今年度までは『移行措置』ですが、2020 年には本格実施され、評価が行われ、成績も出されます。

●小学校で 600 ～ 700 語の英単語を扱うことが示され「慣れ親しむ」から「学ぶ」に移ります。
1200 語程度の英単語を扱っていた中学校でも 1600 ～ 1800 語扱うことになり公立中学卒業時 1200 語だった英単語は 2500 語程度になります。

●これは私立中高一貫校で現在学習している量です。
一貫校では更に増えるものと思われます。
扱う文構造も増え、複雑になります。
（現在完了進行形や仮定法を公立中学で扱います。）

●『移行措置』の中にいる生徒は皆、高校卒業時、『本格実施』されたことになります。

●外国語教育全体の改革が行われ「英語は出来て当たり前」になろうとしています。

ウィルでは全ての学年（幼中～６年生）で
「短時間を頻繁にする」英語の学習を行います。
（　年中～２年は授業の中で、３年～６年は時間割をご覧下さい。）

（　※『Golden Rule 24』の⑦、⑧、⑨をご覧下さい。　）

※　始動を経て、15 分 / 日（３年～６年）の枠で、本格稼働します。

※　料金　；　いただきません。（教材の購入だけお願いします）

10　WiLL の論理

ウィルの論理

●ウィルでは１年から６年まで、主に『論理エンジン』を教材に『論理』の学習をします。
５・６年の『国語読解法』の授業では、WiLL オリジナルの教材と、例題として各中学校の国語の入試問題を使います。

●算数の問題が「できない」場合、「問題文が正しく理解できていない」ことがほとんどです。
“読解力”がないのです。

（『Golden Rule 24』⑲）

●問題文が理解できなくて解答はできません。

●「主語ー述語」「イコール」「対立」「因果」の公式を『わがもの』にして（つまり『論理力』を身につけて）理解する力と伝える力を向上させます。

ウィルでは１年生から６年生まで『論理』の学習をします。
（１，２年は授業の中で、３年～６年は時間割をご覧下さい。）

（　※『Golden Rule 24』の⑪、⑫、⑬、⑭をご覧下さい。　）

※　始動を経て、15 分 / 日（３年～６年）の枠で、本格稼働します。

※　料金　；　教材の購入だけお願いします。

11 12 中学受験予備校 WiLL の日曜特訓

愛光中への算数・理科

愛光中受験を考える生徒の ハイレベル
『応用算数・理科』

●「応用算数」（対象：小４・５・６年）
●「応用理科」（対象：小５・６）

募集 各５名

◎算数の解答力を向上するには、易しい問題を速く正確に解く力と同時に、難問にじっくり取り組み、「一つのやり方では解けたが、別のやり方はないか」と考えてみることも必要とされます。
月１回の日曜日、４時間以上かけて学習するのは「問題文の読み方」「考える手段、ツールの習得」です。
まとまった時間をとって難問に挑戦することで「算数を解く楽しさ」も味わうことができます。

◎理科の計算問題、実験を中心とした問題を苦手とするものが多く、四谷大塚全体を見ても平均点が非常に低いのです。
理科の演習にもまとまった時間をとるべきだと考えました。

◎日曜日のこの講座だけ受講することができます。

	「応用理科」	「応用算数」
学年	５・６年生	４・５・６年生
対象	●理科の計算・実験問題を強化したい 塾内外の５年生 ●愛光中を受験しようとする 塾内外の６年生 **（６年は愛光他難関校過去問中心）**	●応用力を強化したい 塾内外の４・５年生 ●愛光中を受験しようとする 塾内外の６年生 **（６年は愛光他難関校過去問中心）**
時	日曜　13時～16時（６年生は～18時）	日曜　13時～17時（６年生は～18時）
前期実施予定日 ４・５年は３月～７月 ６年は３月～７月	小５理：3/8、4/5、5/10、6/14、7/5 小６理：3/22、4/19、5/24、6/28、7/19	小４算：3/22、4/19、5/24、6/28、7/19 小５算：3/22、4/19、5/24、6/28、7/19 小６算：3/8、4/5、5/10、6/14、7/5
受講料金	￥22,000/１教科（塾生）	￥27,500/１教科（一般生）

受講お申し込みは
右記の QR コード、もしくは
お電話（089-987-6162）よりお願い致します。

塾外からこれらの講座だけ受講することができます。
（　入塾金不要。　１講座の受講料　27,500 円　）

WiLLの合格

愛光中学
2年連続“選抜クラス”全員合格

済美平成中等教育学校
全員合格!!

● '20 年度の愛光中学入試
卒塾生　１５名のなかで
（選抜クラス全員合格）2年連続 愛光中学を第一志望にする全員が合格しました。

Y・Aさん（味酒小）	S・Rさん（附属小）	Y・Iさん（桑原小）
M・Mさん（余土小）	I・Kさん（附属小）	M・Rさん（東雲小）
H・Sさん（久米小）	K・Sさん（伊台小）	Y・Hさん（北久米小）

● 新田青雲中学入試
たちばな奨学生 4名 合格

ＷｉＬＬの合格者（志望校全員合格【14 年連続】）

愛光中学　166 名

済美平成　310 名　　新田青雲　352 名

開成　１名　（鹿）ラ・サール　３名　　西大和　２名
東海　１名　　麻布　１名　　白陵　１名

土佐塾・桐朋女子・早稲田・広大附・城北・巣鴨・桐蔭・愛大附・岡山白陵・富士・県立西 他

● WiLL は少人数の塾。足きりの入塾試験を行わず、多人数の塾生から受験コース生を選抜してもいません。
塾の宣伝のための受験もありません。

●卒塾生が中学・高校・大学と先に進むにしたがい、可能性を広げる成果を出しているのは
私たちの“指導・提案”を塾生と保護者の皆さまに支持・支援していただいているからです。

WILLの保護者からのお手紙

今春、保護者の皆様からいただいたお手紙の一部です。
担当の名前もありますが、お役に立てていただけると思い、お許しを得てそのまま載せさせていただきます。

2年間、お世話になりました。入塾当初は、学習の振り返りをする習慣がなく心配していましたが、WILLで繰り返し学習をするようになってからは、少しずつ「できることが増える」ことの喜びや大切さがわかってきて学習に対する姿勢や意欲が変化していきました。

6年になってからは、受験に対する気持ちも強くなりました。今まで、「なんとなくやる」ことしかしてこなかったが、こんなに目標に向かって努力することができたこと、また、努力する喜びを知ることができたのは、先生方の指導のおかげです。本当に感謝しております。気がつけば、塾で過ごす時間が何より大切な時間となり、一番ストレスの解消になっていました。受験勉強がストレス解消になるなんて考えたことも思ったこともなかったのでとても驚きました。それくらい、先生方を尊敬し、同じ志を持つ人々と一緒に過ごす空間が心地良かったのだと思います。おかげで頑張り切ることができました。将来の目標は、先生方のような大人になりたいと言っています。新しい目標ができたので、また、前を向いて進むことができそうです。WILLで鍛えていただいた心を持って、どのように大人への階段を登っていくのか、これからが楽しみです。
本当に、ありがとうございました。

娘が4年間 大変お世話になり、ありがとうございました。
第一志望の愛光中学に合格できました事を、本人、家族共に喜んでおります。これも先生方の熱心な御指導のおかげと感謝しております。

塾を決めるにあたり、医学部に進学した二人のご親戚をお持ちの知人に相談すると、Willを紹介されました。
「Willは、小人数だから生徒一人一人に目が行き届いて、面倒見が良い。受験に対する取り組み方は、個人戦というよりも、先生と生徒が一丸となり団体戦という感じ。先生、生徒とも仲良く、信頼し合い、できない子をできる子が教える等、皆で協力し合える雰囲気が良い。
他の大手の塾は、子供達同士がライバルで、自分が上位にいくために他人を蹴落とす雰囲気があるから、この時期の子供にとってどうかな。」と、アドバイスをいただきました。

実際に原先生にお会いしてお話を伺うと、教育に対する熱意が半端なく、共感することが多くありました。特に「親が子に与える最高最大の財産は教育」という言葉は、我が家の方針と同じでしたので、即、入塾を決めました。

期待通り、学年を経る毎に、Willのメンバーと仲間意識、信頼関係が築かれ、「競い合う」より「同じ目標に向って共に頑張る仲間」となりました。最後の追い込みの時期は、家族との時間よりも塾で過ごす時間がほとんどでしたが、かえって先生や仲間と一体感が生まれ、集中力を高め、励まし合いながら、受験を乗り越えることができたと思います。Sクラス全員が志望校の愛光中学に合格することができたのも、Willのなせる業。Willを選んで本当によかったと思っております。

中学受験予備校 WiLL の時間割・受講料など

（’20 年度時間割 ）

対　象		曜　日	時　間
ｼﾞｭﾆｱ・ｶﾘﾖﾝ	年中	火・金	15：00～15：50
	年長	火・金	16：00～16：50
ｼﾆｱ・ｶﾘﾖﾝ	小1	火・土	火 16：30～17:20　土 9：00～9:50
	小2	木・土	木 16：30～17:20　土 10：20～11:10

◆カリヨンは、週２回（週１回も可能）。

（週１回の場合は都合の良い曜日を選んでいただきます。）

対　象	曜　日	時　間
小3	火・木クラス	16：50～19：20 （演習 16：30～16：50）
	土曜クラス	12：00～15：00 （演習 11：30～12：00）
小4	月・水・金	16：50～19：20 （質問 16：30～16：50）
	土（演習と週テスト）	12：00～15：00 （質問 11：30～12：00）
小5	月・水・金	17：40～21：50 （演習 17：40～18：30）
小6	火・木	17：40～21：50 （演習 17：40～18：30）
	土	15：20～18：40
	土曜特訓	19：20～21：10
	日曜特訓	9：00～18：00

◆小３の『演習』は、算数中心の基礎演習・質問受け
◆小４の『質問』は、算数中心の質問受け・基礎演習
◆小４の『演習と週テスト』は、原則全員受講。算数・国語の正規授業と考えて下さい。得点力を向上させます。
◆小５･小６の『演習』は、全員必須受講。算数の正規授業と考えて下さい。復習定着の時間です。
◆『勉強部屋』……家庭学習の習慣をつけるための
（自学）個別学習（家庭での課題をする）
…<月曜　～　金曜>　いずれも（19：00～21：00）
◆小６は４月より土曜特訓（19：20～21：10）、９月より日曜特訓（9：00～18：00）有り。内容：基礎事項定着と過去問の解説・演習
◆選択制の「応用算数」(小４・５・６)･「応用理科」(小５・６)（月１回・日曜 13：00～18：00）有り。
「国語読解法」（小６）有り。（いずれも応用・発展内容）

テストの実施日時

（4・5・6 年）週テスト

・実施日は別紙

毎週土曜	4 年	14：15～15：00
	5 年	9：00～11：30
	6 年	11：50～15：00

（3 年）月カリキュラムテスト

・土曜日（日時は別紙）

公開模試・講習会判定・公開組分テストなど

・その都度連絡

’20 年度通常授業受講料金（税込）

◎入塾金　**20,000** 円

（兄弟姉妹が在籍の場合　２人目以降は 6,000 円）

対　象			料　金
カリヨン	年中・長 小１・２		週２　**17,700 円** （週１　**13,300 円**）
平成愛光塾	小3	火木クラス	**19,900 円**
		土曜クラス	
	小4		**27,500 円**
	（水土クラス生・・・算国自宅学習＋ウィルで演習・週テスト）・・・**27,500 円**		
	小5		**30,800 円**
	小6		**33,000 円**

◎受講料の減額

●兄弟姉妹が在籍の場合、２人目以降
（小４生以上に同時在籍の場合）**10,000 円／月**
（上記以外）　**5,000 円／月**
減額させていただきます。

◎教材費

●カリヨン・シニアカリヨン……**3,600 円／月**
●小３～小６…実費（『使用テキスト一覧』をご覧下さい）
※半期ごと（前期～８月、後期９月～１月に前納をお願い致します）

◎演習受験料

●演習……（４・５・６年）　**6,700 円／月**
（３年）　**4,600 円／月**
※半期ごと（前期～８月、後期９月～１月に前納をお願い致します）

◎『勉強部屋』……週１日　**5,500 円／月**
（希望による）　週２日以上　**11,000 円／月**

◎「応用算数」「応用理科」「国語読解法」
（希望による）……塾生　**22,000 円／半期**
一般生　**27,500 円／半期**

◎テスト受験料（細目は“ウィルの実施するテスト”を参照）

●月例テスト（３年）　学力判定（４・５年）
公開組分（４・５年）　合不合判定（６年）
……四谷大塚の定める受験料

●《ウィル》
週テスト（５・６年）……　**1,700 円／回**
週テスト（４年）……演習受講料に含む

授業料等の納入は口座振替を利用していただきます

中学受験予備校 WiLL の教材費

（2019 年度の価格を記載しております）

'19 年度　後期（9 ～ 1 月）教材費内訳

3 年　　名前

教科	教材名	価格（税込）	購入分
算国	ジュニア予習 3 年算国（9 ～ 1 月）	6600	
算数	演習問題集 3 年生（下）算数	1100	
国語	演習問題集 3 年生（下）国語	1100	
	論理エンジンキッズ 3 年生②	1100	
冬季	新演習冬期テキスト（算・国）	1320	
	3 年合計	10120 円	

※消費税は 10％で計算しております。

'19 年度　後期（9 月～）教材費内訳

4 年　　名前

教科	教材名	価格（税込）	購入分
算数	予習シリーズ算数 4 年（下）	1980	
	予習シリーズ計算 4 年（下）	880	
	演習問題集算数 4 年（下）	1320	
国語	予習シリーズ国語 4 年（下）	1980	
	漢字とことば 4 年（下）	1980	
	基本問題集 4 年（下）	1320	
	論理エンジンキッズ 4 年生②	1100	
社会	予習シリーズ社会 4 年（下）	1980	
	演習問題集社会 4 年（下）	1320	
理科	予習シリーズ理科 4 年（下）	1980	
	演習問題集理科 4 年（下）	1320	
冬季	新演習冬季テキスト（算・国・理・社）	3400	
	4 年合計	20600 円	

※消費税は 10％で計算しております。

'19 年度　後期（9 月～）教材費内訳

5 年　　名前

教科	教材名	価格（税込）	購入分
算数	予習シリーズ算数 5 年（下）	2200	
	予習シリーズ計算 5 年（下）	1320	
	演習問題集算数 5 年（下）	1760	
国語	予習シリーズ国語 5 年（下）	2200	
	漢字とことば 5 年（下）	1980	
	論理エンジンキッズ 5 年生②	1100	
社会	予習シリーズ社会 5 年（下）	2200	
	演習問題集社会 5 年（下）	1980	
理科	予習シリーズ理科 5 年（下）	2200	
	演習問題集理科 5 年（下）	1980	
冬季	新演習冬期ﾃｷｽﾄ（算・国・理・社）	4400	
	5 年合計	23320 円	

※消費税は 10％で計算しております。

'19 年度　後期（9 ～ 1 月）教材費内訳

6 年　　名前

教科	教材名	価格（税込）	購入分
算数	予習シリーズ算数 6 年（下）	2200	
	予習シリーズ計算 6 年（下）	1320	
	入試実践問題集算数（有＋難）	3520	
国語	予習シリーズ国語 6 年（下）	2200	
	漢字とことば 6 年（下）	1980	
	入試実践問題集国語	1760	
	論理エンジンキッズ 6 年生②	1100	
社会	予習シリーズ社会 6 年（下）	2200	
	入試実践問題集社会 6 年	1760	
理科	予習シリーズ理科 6 年（下）	2200	
	入試実践問題集理科 6 年	1760	
冬季	新演習冬期ﾃｷｽﾄ（算・国・理・社）	4400	
	6 年合計	26400 円	

※消費税は 10％で計算しております。

◎英語の教材は別紙にて

◎英語の教材は別紙にて

中学受験予備校 WiLL の主なスタッフ

塾長
原　信也
（算数・幼児・論理担当）

●母校愛光学園で教育実習、母校の教師を志望するも「社会科」の募集はなく、「仮」の就職先のつもりで、愛光・早稲田大通しての先輩（二神能基氏）の経営する二神塾を選んだ。
●早大在学中、家庭教師として指導した生徒は紹介が拡がって 11 人。二神塾に入って「塾教師」は天職かとも思った。
●いきなり中学受験小６生の社会科を担当、「教材もテストも自分で作れ」と言われたのにはびっくりしたが、生徒は優秀で自分からすすんで学習する、大いにやりがいも感じた。小学生の算数・国語・社会、中学生の英語の指導を担当する他、当時二神塾幼稚舎にいた２人の外国人と一緒に sunmate という英語教室の運営もする、「進級テスト」の教材づくり、テストづくり、テストの実施の指揮もとった。
●昭和 54 年、二神塾の中学部門を運営する会社として「寺小屋」がつくられ、９月に移籍した。
●「寺小屋」の成長は著しかった。スタート５年間で教場は５、塾生は 1,000 名を超え、10 年目教場は 15 を超え、塾生は 5,000 名に達した。15 年目になると、教場は 37、塾生数 10,000 名になった。
●多忙を極めた、毎年３～４の教場がつくられ、英才部門・高校生部門、カルチャー部門が独立し、野外活動の拠点がつくられた。８年目からは、役員として教場の運営、新教場開設の準備の他に、中学受験部門の独立たちあげ、宣伝広告、講演会など広報活動、教材・テストの作製、人事、運営管理、企画など多くの業務を担当した。平成 12・13 年は、1：2 個別のたちあげを担当するかたわら、ライフワークと考えている、幼児の基礎能力開発と、幼・小の英語教室のスタートを行った。
●学習上のつまり・悩みを除いて改善していく、つまり“治療”も塾の大切な役割だが、基礎能力をつけ、つまりをなくする、悩む様になっても自分の内側に問題解決能力をつける、つまり“予防”も塾の大切な役割と考え、予防のための塾をつくりたいと念じている。
●’０２年２月、総合学習塾「寺小屋グループ」を退社、幼児と小学生だけを対象にした塾ＷｉＬＬを創る。息子２人（建設会社勤務、都銀勤務）

田中　翔
（理科・算数担当）

●阪神大震災の年に中学受験、予定していた灘中は受験できず。進学した愛光中は阪神からの生徒で一杯だった。
●「国語の教師」と思い大学を選んだが公教育は適所ではないと判断。「ウィル」に出会い、参加し、「私塾」こそ「我が場」と知った。

田中　薫
（社会・算数・中学英数担当）

●愛光中・高 OB。
集団指導・個別指導・家庭教師……。
大学受験・高校受験・中学受験……。
いろいろな生徒と出会って指導。
「ウィル」に参加する。

池田　幸子（国語担当）

●大学卒業後、寺小屋グループに入社。６年間小学生の国語・社会・中学生の英語を中心に指導、中学受験生も多く担当した。平成 10 年にいったん退社するも、幼児能力開発教室の講師として、請われ復帰。幼児と小学生の塾ウィルのたちあげに参加。

篠原　さえ（幼児（カリヨン）指導担当）

●七田チャイルドアカデミーの教室を 20 年以上運営。
昨年は『EQWELL』のたちあげに参加。
WiLL で中学受験につながる幼児教室の運営を
手がける。

入塾まで、入塾から１ヵ月後まで

① お問い合わせ・お申し込みをいただきます

② WiLL より、授業・教材・スケジュール・時間割と料金等の資料をお送りします。

③ WiLL から連絡をし、ご来室日時を決めさせていただきます。

④ 来室していただき、授業・教室の様子をご覧いただき、説明をさせていただきます。

⑤ １週間「ためし入塾」していただきます。（無料。教材は必要なものを用意します。）
（その間に不明点を解決し、「指導」を確かめてください。入塾時テストも受験していただきます。）
（4 年後期からは入塾テストを実施します）

⑥ 目標・お子様の現状・見通し・WiLL を選んだ理由・WiLL に対する期待などをお聞きし、入塾時テストの結果をお返しし、学習の方法・今後の見通しなどを３者（親・子・WiLL の担当）で共有の上、おいでいただく教室・曜日・時間などを決定します。

⑦ お申し込み・入塾の手続をしていただきます。
（入塾申込書・口座振替依頼書の提出、入塾金・受講料金の納入など）

⑧ 受講開始

⑨ （３週間後）通塾する曜日・クラスなど必要な微調整をします。

WILL の保護者からの手紙

頑張ってやりぬいてよかったと思います。3つめは、6年生の9月から各学校の過去問を大量に解くことでした。12月末頃から愛光の過去問を解きながら「楽しい！」と言った時、信じられない気持ちと、もしかしたら合格するかもと思いました。入試当日、試験が終わって私に話した第一声が、「算数が簡単だった！でもわからない問題もあって、それは解き方はわかってたから、それだけは書いた。」でした。過去問を解くのは大事なんだなと思いました。4つめは、志望校別のクラス編成。

ウィルに通い始めてから２年が過ぎました。これまでの間、本当にお世話になりありがとうございました。私と息子が４年生の１２月に体験として初めてウィルの授業を見に行ったとき、「塾ではこんなことをしているのか」とものすごい衝撃を受けたことを今でも思い出します。教室の雰囲気も今までに味わったことのない空気で、息子は正直沉込みしていました。私は、息子を塾に行かせて中学受験をめざすという目的ではなく、学校の勉強を楽しくしながら、自主的な学習にも取り組んでいる姿を見て、将来勉強したことはきっと役に立つ、純粋に勉強ができるこの時代に、環境を整えて勉強をさせてやりたいと思いました。そして私自身、社会に出て働いている中で、学生時代にもっと勉強をしていたらよかったとずっと思っていたことも理由の一つでした。

５年生になって、ウィルのペースにも慣れ、塾通いも生活の一部となりました。そのころもまだ受験のことは漠然としたもので、どこの学校に行きたいと

今でも思い出します。将来の道に進むのなら、もう受験はあきらめないといけないかな、塾もやめないといけないかな、原先生にどんなふうに言えばいいかな、とどうしようもない不安があふれました。約束もしないで突然、息子と二人でウィルに行きました。授業が終わって原先生だけが残られていました。奨励会試験に合格したことを告げると原先生は「おめでとう」と言ってくださいました。私はそんなふうに言ってくださるとは思っていませんでした。もう塾にも通えない、やめると言わなければならないのだろうと心の中で思っていました。しかし、原先生は時間を上手に使って、両方頑張ればいいと親身に話を聞いてくださり、そうおっしゃいました。それが可能かどうかも分からなかったのですが、とにかく続けてやっていくことになりました。息子も少し心が晴れ、頑張る意欲がもてたようです。（原先生、あのときは早慶戦の試合に遅れてしまい、本当に申し訳ありませんでした。）

こうやって思い起こしながら、受験を通して、いろいろな経験をさせていただいたなと改めて思います。本人の努力はもちろんですが、本人だけでない周りの方々の支えがあってこそだと感じました。塾は勉強だけを教えるところだと思っていましたが、けしてそうではなく、メンタル面をも配慮してくださり、生活リズムを整えること、時間を有効に活用すること、集中すること、そして感謝の気持ちをもつこと、本当に勉強だけでない人間として大切なものを教えてくださったように思います。息子はいつも「感謝しとるよ」という言葉を私たち夫婦にかけてくれます。その気持ちを忘れないで、素直に育っていってほしいです。

ただと思います。夜はテレビを消して勉強をさせるようにしましたが、実際は取りかかるまに時間がかかり、イライラすることもしばしばありました。

WILLの「面倒見主義」という言葉通り、先生方が一人一人をよく理解していてくださったり、またノートへの励ましの言葉を書いてくださったりと、小人数制ならではの良さを感じることができました。受験を終えて、先生方のお仕事はこんなにも大変なものだったのかと本当に頭が下がる思いです。試験当日の心配り（マスク・のど飴・キットカット（ぎ、と勝つ）・心構え）また、親のいかなる質問にも丁寧に答えてくださり、とてもありがたく感謝しております。

WILLの今年の卒塾生が、それぞれの中学・高校で成績上位で頑張っていることも聞いております。ここで学んだ勉強の仕方・習慣・楽しさを

子供が四年生の秋風吹きに入塾してからの二年と少し、本当にお世話になりました。先生方のお陰で受験五校全て合格することができました。本命の愛光の前、チャレンジの県外受験の前、彼女が最後の最後に手にした教材は四科のまとめでもなく、コンプリーションでもなく、四年生の第の理科の理科予習シリーズ上下巻でした。これが案外役に立ったようで「見直しが良かった、基礎は大事!」と試験後に言いました。

年に何回かあった受験校に出向いてのテスト、実際受験当日は子供本人もですが親の私のほうも落ちついていられて、とても助かりました。

ウィルに通い始めて、鉛筆と、ボールペンの替え芯をとられた分量、たかが……、彼女の鉛筆削りはこの二年間で三台目です。我が家は、リビングに机を置いているので普段はほとんどテレビはつけませんが、夜、外も静かになるとひたすら彼女の動かす鉛筆の音が。原先生の言われる「考えることは鉛筆を動かすということ」まさにその通りで鉛筆の音が聞こえない時は彼女のため息ばかり。

入塾して初めて取組んだ教材には、ゆとり教育真只中の彼女が見たことのない分数の応用が、分数の読み方も意味もわからないのに、これはついていけないと思い原先生に相談すると「やるうちに何とかなります、大丈夫です」とスパッと一言。もっと重い話になると思っていたのに一言、ホントかいな？と思いましたが、負けず嫌いの彼女の性格が功を奏し、ホントに何とかなりました。体験～入塾テスト～入塾、ほんの少しの間で彼女の性格がわかっていたのでしょうか？

他にも、忙しいであろうに、毎回提出するノートに必ずコメント頂き何回、心が救われたか…有難いことです。　合格発表の日、私のミスでバタバタした時も「電話の向こうの子供の雰囲気が怪しかったから」と折り返し頂いた電話は、親子共々、一生忘れることはないでしょう。「チャ、ウィルで良かった、少人数のとこじゃなかったらこんな親身になってくれんよね、原先生大好き」と彼女が言いました。

ウィルを選んだことは間違いなかったです。　有難うございました。